



学生訪問団に聞きました!!

国際交流が 教えてくれたこと



椎谷亮吾さん
(下新丁・大学3)

ドイツ語をうまく話せなくても、ジェスチャーや英単語だけで十分に気持ちを伝えることができました。これは、相手を理解しようとする姿勢が大切だと思います。国や言語や宗教を超え、人が分かり合える事を身を持って体験できました。



佐藤謙介さん
(長清水1・高2)

最初は緊張で英語も出てこなかったけど、仲良くなれば、うまく話せずとも、コミュニケーションをとることができました。授業では教えてもらえないことがたくさん学べ、貴重な経験となりました。



土屋裕紀さん
(高松・高3)

ドイツでの野菜の売り方、朝・夕の食事よりも昼食に手間をかけるといった食生活の違いなどを、スーパーという身近なところから感じました。当初と比べドイツのイメージが大きく変わりました。



橋本 彩さん
(葉山・高3)

初めて会った時から温かく歓迎してくれたことが忘れられません。言葉の壁は大きかったけれども、触れ合いを重ねるうちに、そんな壁も忘れてしまうほど仲良くなったことに感動しました。



大宮愛美さん
(松山・大学2)

パンや肉を多く取る食文化の違いや、湿気が少なく日本よりも過ごしやすい気候であることを肌で感じました。日本と異なる文化に興味を持ち、今後は異文化のゼミで勉強していきたいと思います。



神保実希さん
(美咲町・大学1)

日本文化を紹介する際、ド市の子どもたちに、片仮名の名前の書き方を教えました。一生懸命取り組む姿がうれしく、もっともっと外国人の人に日本文化を伝えていきたいと思いました。



稲毛彩乃さん
(宮脇・大学1)

大学でドイツ語の勉強をしており、積極的に話しかけることで語学力が付きました。語学の上達のためには使ってみることが大切です。通じたことが、自分の勉学へのやる気にも繋がりました。

